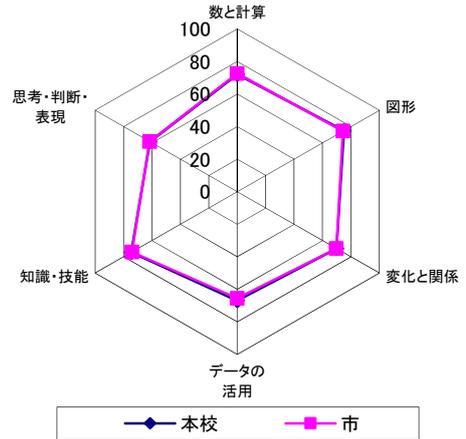


# 宇都宮市立上戸祭小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	72.1	72.6	71.6
	図形	75.0	74.4	72.0
	変化と関係	70.0	69.8	62.6
	データの活用	66.9	65.5	59.1
観点別	知識・技能	74.5	74.1	68.9
	思考・判断・表現	61.5	61.6	63.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>○面積が一定の平行四辺形の底辺と高さの関係を表した式を選ぶ問題の正答率は80.6%で、市の平均を6.0ポイント上回っている。</p> <p>●約分のある分数÷分数の計算の技能を問う問題の正答率は75.8%で、市の平均を11.6ポイントと大きく下回っている。</p>	<p>・朝の活動で基礎基本の定着を図るプリントに取り組みせ、計算処理の手順を定着させることで、計算処理能力の向上を図る。</p> <p>・フォローアップ問題や計算のプリントなどで繰り返し取り組みせながら、基本的な計算の技能の定着を図っていく。</p>
図形	<p>○三角形の内角の和が180°であることを理解し、2つの角が与えられた三角形の1つの外角を求める問題での正答率は77.4%で、市の平均を5.7ポイント上回っている。</p> <p>●直方体を組み合わせた形の体積を求める問題の正答率は79.0%で、市の平均を4.3ポイント下回っている。</p> <p>●点対称の図形について対応する辺を選ぶ問題の正答率80.6%で、市の平均よりやや低い。</p>	<p>・立体の体積や、線対象、点対称の性質について、実際に具体物を操作しながら指導することで、知識理解の向上を目指す。</p>
変化と関係	<p>○値に0がある分離量の平均を求める問題の正答率は83.9%で、市の平均を2.9ポイント上回っている。</p> <p>●単位量当たりの大きさ・速さについての問題では、正答率は市の平均を1.0ポイント程下回っている。</p>	<p>・「時速」などの用語の定義を繰り返し確認し、定着を図る。</p> <p>・文章問題などに取り組む際に、実生活や体験と結び付けて正確にイメージできるように指導することで、問題の把握や解き方のヒント、答えの確認などに生かせるようにする。</p>
データの活用	<p>○折れ線グラフを読み取る問題の正答率は82.3%で、市の平均を11.4ポイント上回っている。</p> <p>●道のりとかかった時間から時速を求める式を選ぶ問題の正答率は82.3%で、市の平均を2.4ポイント下回っている。</p>	<p>・データを読み取る際に確認しなくてはならない点について確認し、正確に比較ができるようにする。</p> <p>・題意に合った解き方や解答ができるように、問題をよく読むことやその状況を正確にイメージすること、答えに見当を付けることなどを、習慣化させていく。</p>